

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和8年5月7日 第104号

同窓会

5月2日は、同窓会でした。高校時代の友人たちと。40年ぶりの再会もあったりして、歓喜の連続でした。特に感動したのは、その友人は、某会社の社長をしているのですが、スタートはその会社のアルバイトから出発したこと。そのアルバイト先が今も残っていて、その前で写真を一枚。

その道一筋。立派だなあとしみじみしたのです。今回は登場しませんが、柔道部だった友人が銀座の料亭で料理長をしていて、その店に何度か行ったそう。「今度みんなで行きましょう」と誘われましたが、超高級店なので、行けるかどうか。

5月3日も同窓会。

今度は、「恩師」と呼ばれるくすぐったい同窓会。先輩の先生も二人参加していただき、昔話に花が咲きました。

立食形式で、年寄りにはきついなあ、と感じていたのですが、とっかえひっかえ次々と卒業生が横に来ては、ああだこうだ。ほとんど食事をとれないまま幸せな時間が流れていきました。個人的に面白かったのは、長い間高い塀の中で過ごした卒業生の話。それが終わると警察官になった卒業生が警察行政について。その後警視庁に勤める卒業生。かと思うと、小学校の先生になっていた卒業生が登場したり。

大半は、子育ての話。こちらとしては、子育ては終了しているので、子育て中だった当時は懐かしんだりして。

同窓会。日本独自の文化だと思います。かつて、なかなか定職が見つからない時代があって、そんなときの同窓会は、なんとなく行けなかった記憶があります。来れなかった懐かしい顔もしっかりと思い出した夜でした。